

### Ⅲ 事業実施状況

1. 先天性代謝異常等検査実施状況

(1) - 1 ガラクトース血症検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査			
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果		
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性
27	6,436	107.5	6,303	24	-	88	456	450	2	2	2	2	2	-	-
28	6,093	104.7	5,939	25	-	119	455	413	1	4	4	4	2	2	-
29	6,051	106.1	5,921	25	-	105	332	327	-	4	1	4	3	1	-
30	5,772	103.9	5,636	21	-	115	330	327	1	1	1	1	1	-	-
R1	5,499	105.9	5,357	18	-	124	324	319	1	1	3	1	1	-	-

(1) - 2 先天性副腎過形成症検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査			
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果		
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性
27	6,436	107.5	6,316	106	1	13	456	424	25	6	1	7	6	1	-
28	6,093	104.7	5,985	102	1	5	455	420	29	6	-	7	4	3	-
29	6,051	106.1	5,964	77	1	9	332	311	19	2	-	3	-	2	1
30	5,772	103.9	5,687	75	-	10	330	314	12	4	-	4	1	3	-
R1	5,499	105.9	5,401	73	-	25	324	300	20	4	-	4	4	-	-

\* 受検率は、初回検査数の出生数に対する率である。

\* H27より「先天性代謝異常検査」の内容を「ガラクトース血症検査」及び「先天性副腎過形成症検査」に分割している。

(2) クレチン症検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査			
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果		
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性
27	6,436	107.5	6,376	48	-	12	456	451	1	3	1	3	2	-	1
28	6,093	104.7	6,028	60	1	5	455	352	2	4	-	4	-	3	1
29	6,051	106.1	5,987	54	2	8	332	325	7	-	-	2	-	-	2
30	5,772	103.9	5,701	59	-	12	330	322	4	4	-	4	2	-	2
R1	5,499	105.9	5,425	48	1	25	324	320	-	4	-	5	1	-	4

\* 受検率は、初回検査数の出生数に対する率である。

(3) タンデムマス法検査

区分 年度	初 回 検 査							再 検 査						精 密 検 査			
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果					検査数	結 果			
			カットオフ値内	再採血	要精密検査	判定保留		検体不良	カットオフ値内	再採血	要精密検査	不備検体		検体不良	正常	経過観察	陽性
27	6,481	108.2	6,294	90	2	90	5	458	410	35	11	1	1	14	3	9	2
28	6,091	104.7	5,905	76	-	107	3	453	403	42	5	3	-	5	2	3	-
29	6,052	106.1	5,944	5	1	102	-	331	330	-	-	1	-	-	-	-	-
30	5,772	103.9	5,657	7	3	105	-	330	326	2	1	1	-	4	2	1	1
R1	5,499	105.9	5,371	8	2	118	-	324	320	2	1	1	-	3	3	-	-

## 2. 母子保健推進事業

### (1) 母子保健評価運営委員会

種別	内容	月日	出席者数
評価運営委員会	1) 山梨県母子保健医療推進事業 山梨県「健やか親子21(第2次)」の中間評価 2) 本県の母子保健の現状と課題について <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代包括支援センターについて</li> <li>・不妊治療、相談について</li> <li>・先天性代謝異常等検査について</li> <li>・新生児聴覚検査について</li> <li>・産婦健康診査について</li> <li>・産前産後ケアセンター事業について</li> </ul> 3) 妊産婦メンタルヘルス対応マニュアル	3月 書面開催	—

### (2) 保健所母子保健推進会議

保健所名	種別	内容	月日	出席者数
中 北	母子保健推進会議	テーマ: 周産期のメンタルヘルスについて (1) 昨年度からの取り組み経過と課題の説明 (2) 地域と産科医療機関等の連携強化において継続した課題となっている「緊急ではないが、精神科へつなぎが必要なケース」等、精神科領域への具体的なつなぎ方について以下の3点が共通ツールとして活用できるよう3Gに分かれ検討した。 ・メンタルヘルス不調の妊産婦への支援フローチャート ・判断基準統一のためのツール ・継続看護連絡票(産婦健診)(産科⇄市町の情報共有) ・支援が必要な産婦を把握し、必要時スムーズに精神科につなぐための情報共有ツール ・情報提供書(妊産婦)→市町から精神科へ ・精神科につなぐ際に必要な情報を提供するためのツール	9月25日	21
	市町担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代包括支援センター事業について(支援プランの効果的な体制作り等)</li> <li>・産婦健康診査事業について(産後退院～精神科受診の間までの支援において、心理相談の効果的な活用方法等)</li> <li>・発達特性をもつ児への支援について(継続支援が困難な場合の対応等)</li> <li>・情報交換、情報提供</li> </ul>	7月19日	12
峡 北	母子保健推進会議	実績無し	—	—
	市担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産前産後の対象者支援について</li> <li>・母子保健従事者研修会(事例検討会)について</li> <li>・母子保健地域組織育成について</li> <li>・情報交換、情報提供</li> </ul>	10月7日	10
峡 東	母子保健推進会議	1) 峡東管内の状況について 2) 産婦健診後の支援について 3) 産前産後ケアセンターの利用等について 4) その他: 情報交換	10月17日	11
	市担当者会議	1) 各市、保健所の今年度の母子保健事業(特に新規事業、主要事業)について 2) 産婦健康診査の取り組み状況について 3) その他: 情報交換 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師活動統計の分析</li> <li>・産前産後ケアセンターについて</li> </ul>	6月13日	17

保健所名	種別	内容	月日	出席者数
峡 南	母子保健推進会議	・南巨摩医師会と共催で「子ども虐待に関する研修会」を開催 ・母子保健推進会議委員も対象に各関係者が参加 ・講師:松戸市総合医療センター 小児科医長 小橋孝介氏	11月16日	83
	市町村担当者会議	・発達障害支援のまとめ ・峡南圏域の事業内容について	6月3日	10
		・発達障害支援のまとめ ・峡南圏域と支援について検討	7月29日	12
		・子育て世代包括支援センター設置後の情報共有	9月30日	11
		・すこやか親子21アンケートの評価の分析	11月25日	8
		・産婦健診、新生児聴覚の実施状況について	1月27日	9
		・まとめ、次年度の計画	3月23日	8
富 士・東 部	母子保健推進会議	実績無し	-	-
	市町村担当者会議	【第1回】 ○ケース支援の状況について ・産婦健診後のフォローについて ・個別支援の体制について ○歯科保健対策について ○その他 ・子育て世代包括支援センターについて	9月4日	17
		【第2回】 ○子育て世代包括支援センターについて ○歯科保健対策について ○その他	1月10日	14
			合 計	243

(3) 研修、事例検討会

保健所名	内容	出席者数
中 北	講義:発達特性に寄り添った子育てを実践するための家族心理教育 事例検討: 「発達の気になる児の支援について～支援困難な養育者の事例をもとに～」	17
	※R2.3.4に予定していた研修会については、コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。	
峡 北	中北保健所峡北支所管内母子保健従事者研修会(事例検討会)  発達に偏りがある児の早期把握、早期支援のため、保健師のアセスメント能力の向上を目的として実施 ・講義「発達相談の方法-事例検討会をふまえて-」 ・事例検討 出席者から提供された事例について、事例検討を実施。 ・講師 ころのサポートセンター ネストやまなし 臨床心理士 中嶋 彩 先生	7
峡 東	目的:発達特性のある児の早期発見・早期支援を行うため、母子保健に従事する保健師等の知識や技術の向上を図る。 内容:事例検討会	11
峡 南	講義「発達の気になる子とその家族への支援のポイント」 グループワーク 全体発表	20
富士・東部	1)講義 「発達に必要なアセスメントの視点」 講師:中嶋先生 2)事例検討会 「児の発達の偏りを心配しているが発達検査や精密検査を断っている事例」 助言者 中嶋先生、上田主幹	10
合 計		65

(4) 母子保健ライブラリー

母子保健に関する健康教育や保険指導等に活用できる専門図書、視聴覚教材、特殊模型、おもちゃ等を整備し母子保健関係者等に関覧、貸し出しをおこなう事業。  
中北保健福祉事務所合同庁舎に設置。

(R1)

区分 年度	閲覧者数	貸し出し 件 数	貸し出しの 内 容(件数)			
			図 書	視聴覚教材	教材・おもちゃ	機 材
23	35	58	1	14	19	24
24	35	35	4	4	29	-
25	31	31	2	4	26	-
26	33	33	2	8	27	-
27	25	25	-	1	24	-
28	14	14	-	2	12	-
29	16	16	40	2	14	-
30	19	19	0	0	19	-
R1	2	27	0	3	27	-

### 3. 母子保健地域組織(愛育会)育成

#### (1) 地域組織育成者等研修会

##### ① 県実施

月日	内容	出席者数
令和元年 12月23日 (月)	開催時間:13時30分～16時30分(受付:13時～) 会場:県庁防災新館401会議室 対象:母子保健地域組織を育成する市町村及び保健所の保健師等 内容:①実践報告1「保健所管内愛育連合会への関わり～保健所保健師としての支援～」実践報告者:山梨県中北保健所健康支援課長 飯島俊美 氏(30分) 実践報告2「愛育組織への支援と保健師の役割」南アルプス市健康増進課 志村和美 氏(30分) ②講義1「愛育会の班員等への聞き取り調査の結果から支援について考える」 健康科学大看護学部 学部長 山崎洋子 先生(60分) グループ討議 助言・まとめ 出席者:27名(県保健師7名・市町村保健師20名)	27名

##### ② 保健所実施

(R1)

	内容	回数	出席者数
甲 府	班員・担当者の研修会	1	90
中 北	会長研修会、理事研修会	1	30
峡 北	理事研修会	1	9
峡 東	分班長研修会、活動紹介、グループワーク	1	38
峡 南	愛育会長・班長研修会、愛育班員研修会	2	78
富士・東部	活動発表会 感想発表	1	80

#### (2) 組織の状況

(令和元年6月30日)

保健所名	組織結成 市町村数	班 数	分班数	班員数	会員数
甲 府	1	24	380	4,475	56,473
中 北	3	5	33	423	27,424
峡北支所	3	35	296	1,441	33,565
峡 東	2	8	38	300	6,013
峡 南	5	12	127	451	12,637
富士・東部	8	10	30	357	15,834
計	22	94	904	7,447	151,946

4. 女性健康相談事業

女性健康相談センター

年度	実相談人数		相談延件数	
	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談
25	36	549	38	549
26	44	548	44	548
27	65	499	65	499
28	117	432	117	432
29	162	429	162	429
30	354	635	354	635
R1	251	783	273	797

平成19年8月開設、平成23年度より各保健所に窓口移行

・令和元年度：甲府市実績含む

5. 不妊治療相談事業

不妊専門相談センター(ルピナス)

年度	実相談人数		相談延件数	
	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談
25	93	29	281	88
26	93	27	293	95
27	88	24	289	69
28	87	26	276	81
29	66	6	251	33
30	67	4	228	15
R1	57	5	243	20

平成16年4月開設

6. 特定不妊治療費助成事業

年度	実給付組数	延べ給付件数	新規給付組数(再掲)	給付金額
25	497	871	239	115,072,259
26	586	1010	314	134,725,129
27	588	989	280	139,716,573
28	542	874	304	155,583,351
29	479	759	251	132,540,652
30	515	767	273	139,137,966
R1	545	835	277	143,405,569

・平成19年度：1年度あたり1回10万円を限度に2回まで、通算5年間助成

・平成21年度：1年度あたり1回15万円を限度に2回まで、通算5年間助成

・平成23年度：1年度目は年3回まで、2年度目以降年2回を限度に通算5年間助成

・平成25年度：C(以前凍結した胚を用いた移植及びF(受精に用いられる卵が得られなかった)場合の助成額が7万5千円に変更

・平成26年度：平成25年度までの申請者及び平成26年度も新規に申請した40歳以上の方に関しては従前の通り。平成26年度に新規申請した、治療開始時点で39歳以下の方は年間回数制限なしの計6回を限度に助成。

・平成27年度1月：男性不妊治療に対して上乗せ助成。初回申請時の助成上限額の拡充

・平成28年度：妻の治療開始時点の年齢が、39歳以下の場合6回、40歳から42歳の場合3回を上限に助成。43歳以上は助成対象外。

・令和元年度：男性不妊治療の初回申請時の助成上限額の拡充

・令和元年度：甲府市実績含む

## 7. 小児医療給付

### (1) 養育医療給付状況

年度／生下時体重	25	26	27	28	29	30	R1
～ 1,000g	20	25	17	20	16	12	9
1,001g ～ 1,500g	28	29	17	25	24	23	25
1,501g ～ 1,800g	26	30	26	23	32	34	26
1,801g ～ 2,000g	28	40	35	35	41	37	40
2,001g ～ 2,300g	1	5	8	6	4	4	2
2,301g ～ 2,500g	0	3	0	1	1	0	1
2,501g ～	0	5	7	2	3	1	6
合 計	103	137	110	112	121	111	109

\* 令和元年度：甲府市実績含む

### (2) 育成医療給付状況

区分		年度					
		26	27	28	29	30	R1
肢体不自由	入院	8	13	16	10	16	9
	通院	9	28	10	7	10	6
視覚障害	入院	5	3	2	0	2	1
	通院	2	4	0	0	1	1
聴覚・平衡機能障害	入院	3	8	1	0	1	1
	通院	3	6	1	0	1	2
音声・言語機能障害	入院	24	45	41	21	22	21
	通院	277	204	105	100	109	98
心臓障害	入院	44	39	34	50	63	41
	通院	2	5	1	4	2	0
腎臓障害	入院	0	0	0	0	0	0
	通院	10	3	1	0	1	1
小腸障害	入院	1	1	0	0	1	2
	通院	1	2	0	0	0	0
肝臓障害	入院	1	4	0	0	0	0
	通院	2	11	0	1	0	0
その他の内臓障害	入院	10	9	5	6	9	4
	通院	3	10	2	6	8	4
免疫機能障害	入院	0	0	0	0	0	0
	通院	0	0	0	0	0	0
合 計		405	395	219	205	246	191

\* 平成22年度から肝臓障害が追加

\* 令和元年度：甲府市実績含む

8. 未熟児養育医療指定医療機関・搬送用保育器等設置状況

保健所	未熟児養育医療指定医療機関	搬送用保育器設置機関	年度 搬送実績(件)						R1
			25	26	27	28	29	30	
中北	国立甲府病院、県立中央病院、甲府共立病院、市立甲府病院、山梨大学医学部付属病院	国立甲府病院 (甲府市医師会)	1	2	0	0	0	0	0
		県立中央病院(※1) (甲府市医師会)	72	69	99	95	56	-	-
		田辺産婦人科医院 (中巨摩医師会)	0	0	0	0	0	0	0
峡北		韮崎おはな産婦人科(※2) (北巨摩医師会)	0	0	0	0	0	0	0
峡東		山梨市立産婦人科 (東山梨医師会)	0	0	0	0	0	0	0
		長坂クリニック (笛吹市医師会)	4	5	7	4	2	0	0
峡南	H12年度より 設置中止		-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	富士吉田市立病院、山梨赤十字病院	山梨赤十字病院 (富士吉田医師会)	8	7	2	7	1	4	4
		富士吉田市立病院(※3) (富士吉田医師会)	-	-	-	-	-	1	0
		都留市立病院 (都留市医師会)	0	1	0	0	0	0	0
計	7施設	8施設	85	84	108	106	59	5	4

※1 H30.3より保育器の設置中止

※2 R1.5より韮崎助産院から変更

※3 H30.3より保育器を設置